



Contents
innovation
Program

「コンテンツ・イノベーション」@竹芝 CiP準備会のご案内



東京都は竹芝地区の都有地1.5haを都市再生に向けて民間活用することとし、東急不動産・鹿島建設が事業主体となり、コンテンツ産業集積地を形成します。業務棟と住宅棟の2棟を建設し、その中にコンテンツやITに関する

- 1) 研究開発・人材育成
- 2) コンテンツ産業支援

のための拠点として、ラボ、ホール、スタジオ、オフィス等を構築します。2019年にオープン予定です。

2019年。東京・竹芝にデジタルXコンテンツの産業集積地を創ります。

2020年以降のデジタルとは？

クールジャパンの発信力とは？

日本の国際競争力とは？

創造力と表現力を養うには？



※提案時イメージ図(詳細協議中)

その答えを出すコミュニティを形成したい。・・ぜひご参加ください。

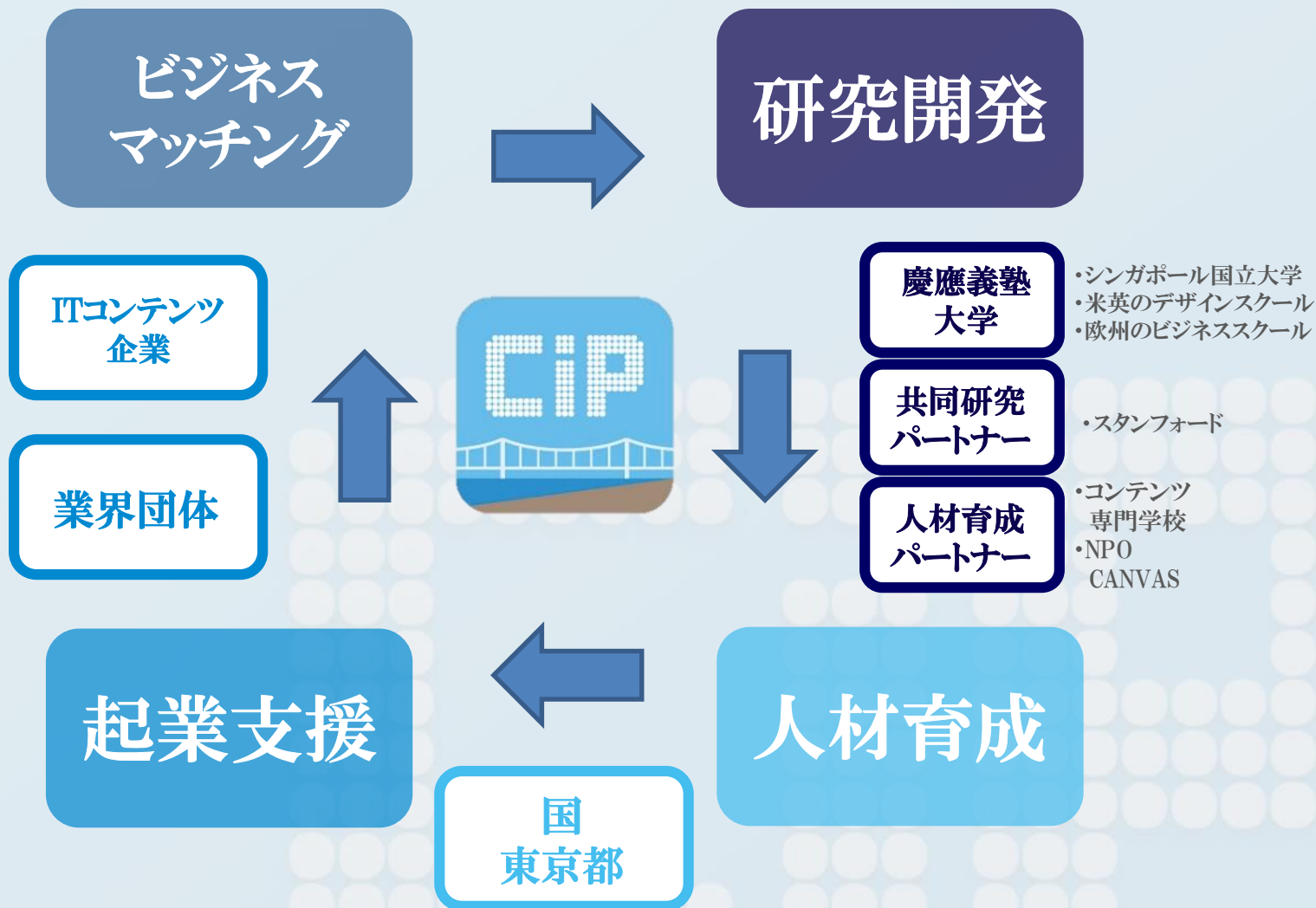


コンテンツ、IT、通信・放送、業界団体、研究機関、省庁など関係者による活動母体として、2015年春「コンテンツ・イノベーションプログラム推進協議会」(CiP協議会)を設立する計画です。

本年度はそのための準備会を開催し、オープンな議論を進めてまいります。

全体構想

コンテンツ・イノベーション・プログラム推進協議会(CiP協議会)
が
中心となり、デジタル/コンテンツに関する研究開発、人材育成、
起業支援、ビジネスマッチングを進めます。



計画概要



■コンテンツ・イノベーション・プログラム推進協議会
(CiP協議会)がコミュニティ運営を担当します。

■CiP協議会に向けた準備会を立ち上げることとし、
慶應義塾大学メディアデザイン研究科中村伊知哉教授
が代表を務めます。

CiP協議会

活動推進主体

施設整備

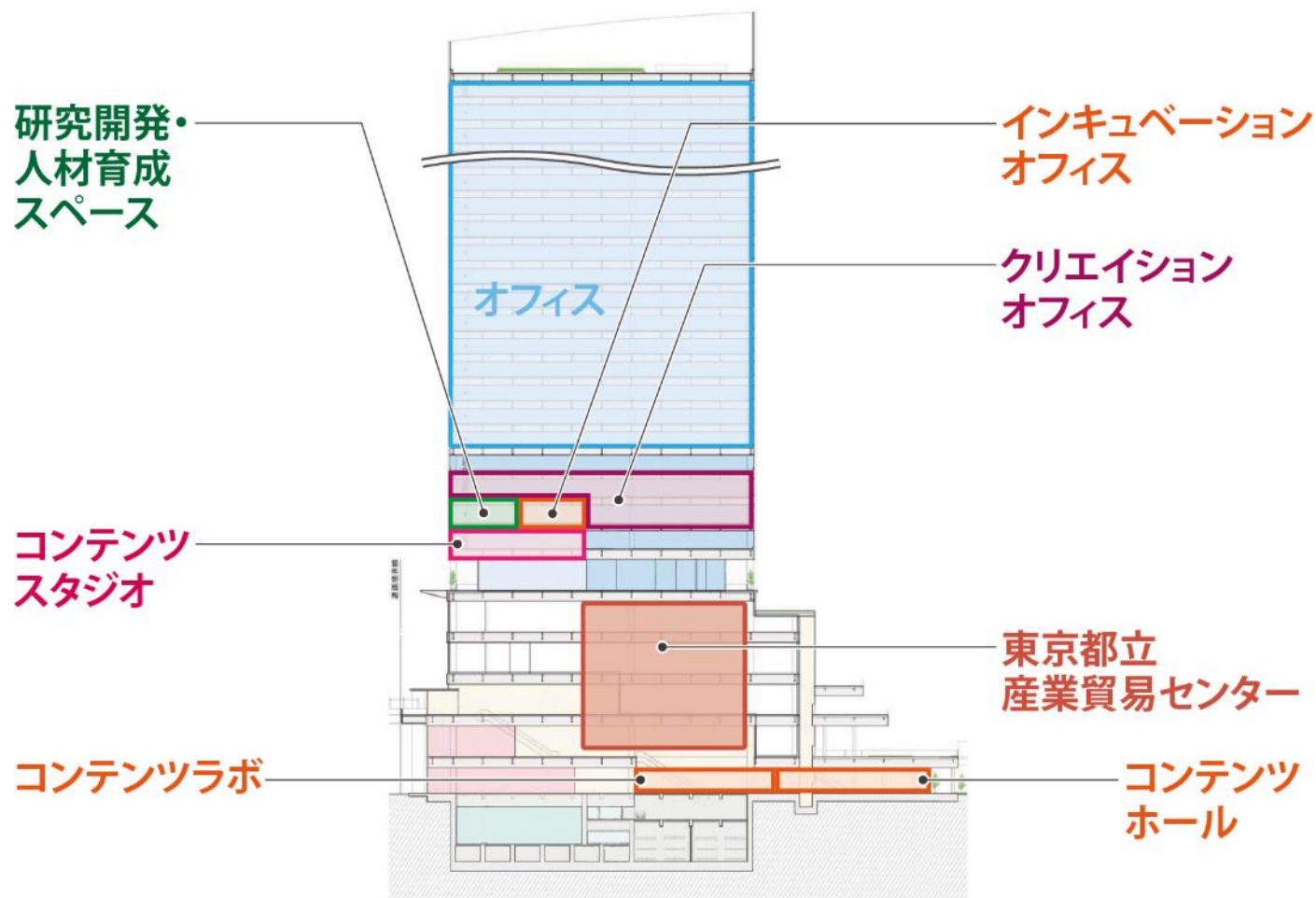
スタジオ、ラボ、
オフィス等

支援機能

サービスアパートメント、
シェアハウス、
ビジネスサポート

デジタル/コンテンツの
国際競争力の高い
ビジネス拠点

断面イメージ



※計画につきましては、協議中につき今後変更が生じる場合がございます。

竹芝のポジション



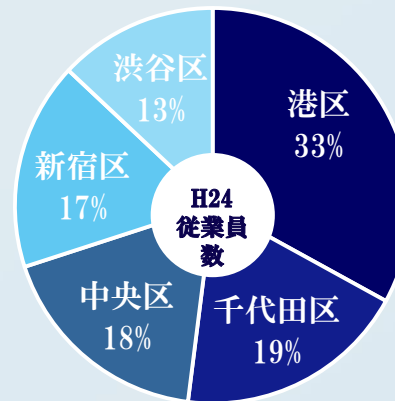
■コンテンツ集積地への近接性
テレビキー局、広告代理店、映画産業など
コンテンツ本社機能が近隣の街に集積しています。
東京というクリエイティブ・クラスターを連結させたい。

■東京オリンピック・パラリンピック会場への近接性
そして2020年。世界のみなさまをおもてなし。

■空の玄関口
羽田空港に連なるモノレール「浜松町駅」に隣接する、世界と東京都の結節点です。

■海の玄関口
伊豆諸島・小笠原諸島へ誘うターミナルであるとともに、水面や水辺という資源を備えます。
「水のある首都・東京」の豊かな機能を活かしましょう。

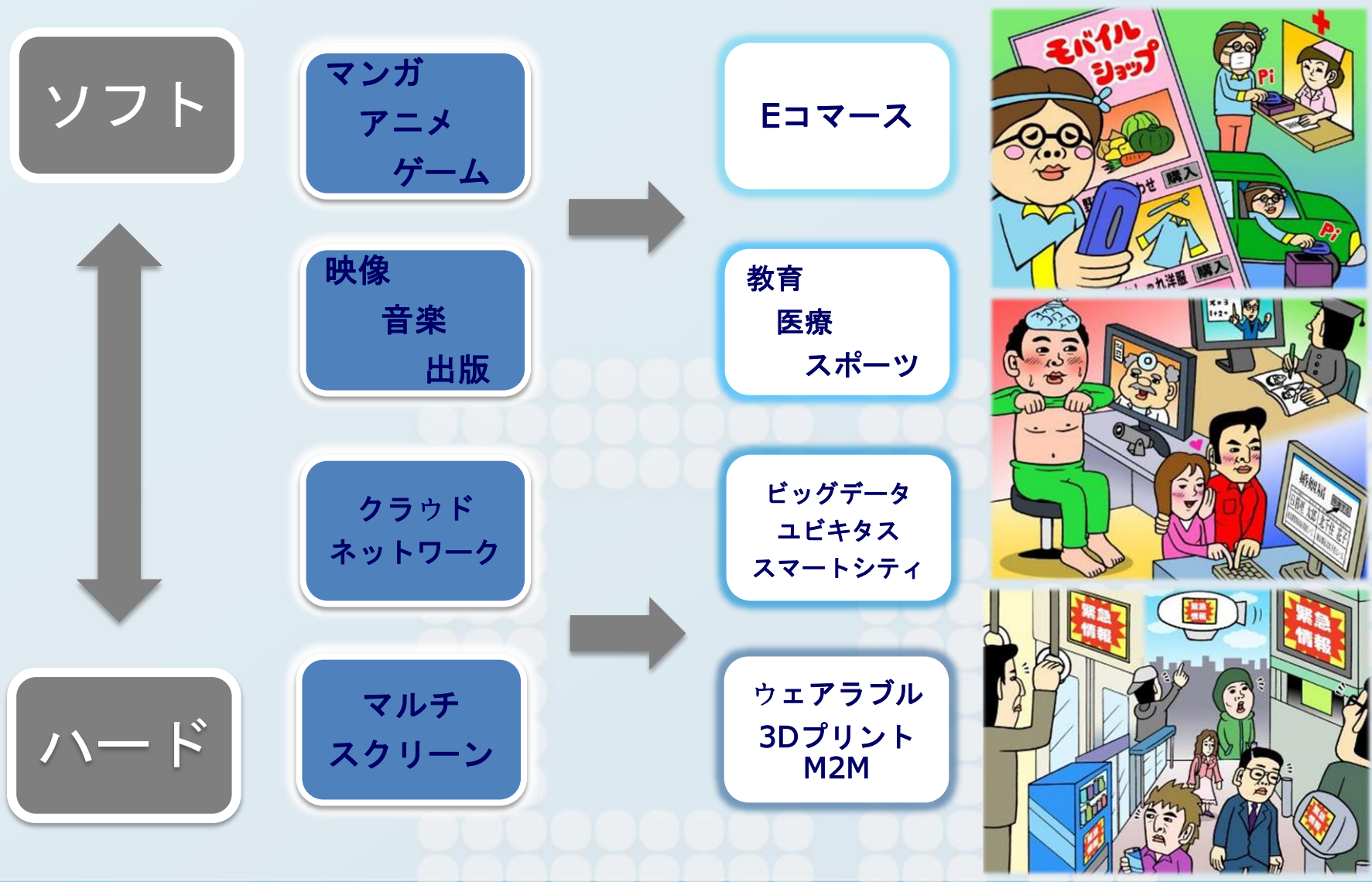
都心5区「情報通信業」分布図



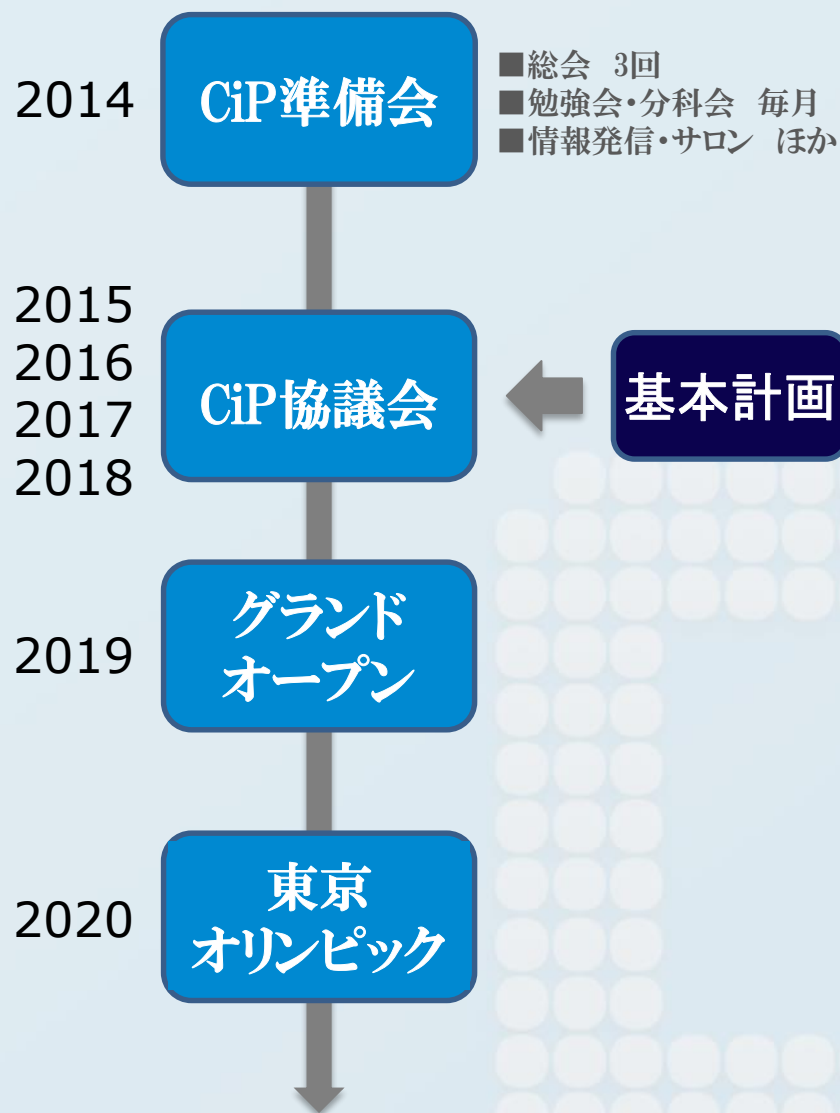
(H24年度経済センサス(総務省)
より事業者作成)



CiPが想定するデジタル/コンテンツ



検討事項とスケジュール



検討事項

- どんな活動を行うのか？
研究開発、人材育成、起業支援、
ビジネスマッチング…
- どんな産業を対象にするのか？
エンタテインメント、IT、放送、製造、教育…
- どんな機能を置くのか？
ラボ、スタジオ、ホール、オフィス…
- どんな周辺環境が求められるか？
交通、食事、店舗、ネット、緑・水…
- どんな都市連携を図るのか？
渋谷、新宿、秋葉原、汐留、品川…
- どんな国際連携が？
SV、NYC、London、Singapore…

規制緩和に関する検討事項 例

- 税制措置
- 容積率
- 著作権：二次利用など
- 電波利用：スマートテレビなど
- オープンデータ：プライバシーデータ利用など
- デジタルサイネージ：屋外表示規制など
- デジタル教育：
- 海外大学の入国